

# 令和3年度 環境経営レポート

対象期間：2021年5月～2022年4月



 **大場機工株式会社**

2022年6月23日発行

# 目次

1. 組織の概要	P3
2. 対象範囲	P5
3. 環境経営方針	P6
4. 実施体制	P7
5. 役割、責任及び権限	P8
6. 環境経営目標	P9
7. 環境経営計画に基づき実施した取組内容	P10
8. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価 ならびに次年度の環境経営計画	P11
9. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果 ならびに違反、訴訟などの有無	P13
10. 代表者による全体評価と見直し・指示	P14

# 1. 組織の概要

## (1) 事業所名及び代表者名

大場機工株式会社

代表取締役 大場 正晴

## (2) 所在地

本社/工場 〒418-0037 静岡県富士宮市安居山44番の8  
TEL：0544-27-6066  
FAX：0544-27-6214  
敷地：10,000㎡  
建物：2,500㎡

第2工場 〒419-0316 静岡県富士宮市羽鮒69-1  
TEL：0544-65-2188  
FAX：0544-65-2466  
敷地：10,000㎡  
建物：3,500㎡

◎本社/工場（H29.1月撮影）



◎第2工場（H29.1月撮影）



(3) 環境管理責任者、環境管理副責任者、化学物質管理責任者の氏名及び連絡先

環境管理責任者 加藤 慎也  
TEL : 0544-27-6066 FAX : 0544-27-6214  
E-Mail : shinya.k@ohbakiko.co.jp

環境管理副責任者 高柳 真一  
E-Mail : yanagi@ohbakiko.co.jp

化学物質管理責任者 奥脇 洋  
E-Mail : oku@ohbakiko.co.jp

(4) 事業の概要

- ・ステンレスパイプの製造
- ・ステンレスパイプの二次加工（曲げ、穴あけ、絞り、接合等）
- ・プラスチック光ファイバー製品の加工、組立、試作、販売
- ・工業用簡易型内視鏡の製造（イージースコープ）

(5) 事業の概要

年 度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
売上高（万円）	152,800	168,000	147,900	138,900	180,500
従業員数	98名	114名	114名	110名	120名
本 社 敷 地	10,000㎡	10,000㎡	10,000㎡	10,000㎡	10,000㎡
本 社 建 物	3,500㎡	3,500㎡	3,500㎡	4,500㎡	4,500㎡
第2工場敷地	10,000㎡	10,000㎡	10,000㎡	10,000㎡	10,000㎡
第2工場建物	3,000㎡	3,000㎡	3,000㎡	3,000㎡	3,000㎡

## 2. 対象範囲

### (1) 認証、登録範囲

全組織、全活動、全従業員を対象とし、全社的に取り組む。

■本社/工場 〒418-0037 静岡県富士宮市安居山44番の8  
→認証：2006年8月

■第2工場 〒419-0316 静岡県富士宮市羽鮒69-1  
→認証：2006年8月

### (2) レポートの対象期間及び発行日

対象期間：2021年5月～2022年4月

発行日：2022年6月23日

## 3. 環境経営方針

### 環境理念

『事業活動が、地球環境に関わる影響を認識し、  
全従業員が環境保全及び環境汚染防止に努め、より良い企業活動を行う』

### 基本方針

大場機工株式会社は、精密ステンレスパイプ製品、プラスチック光ファイバー製品の加工・組立技術を利用して、原材料を効率よく活用した省資源生産で新規製品を開発し社会貢献することを目指します。企業活動の中で環境保全は、経営の重要課題と捉えており、廃棄物の削減を通して環境に配慮した信頼される商品をお客様にご提供します。

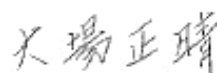
より良い地球環境保全を目指して、前従業員が環境保全及び環境汚染防止に努めて参ります。

1. 二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、総排水量等の削減に努めます
  - 1) 電気、プロパンガス、ガソリン、灯油の使用量削減に努めます。
  - 2) 4 R 活動を通じて廃棄物の削減に努めます。
  - 3) 節水活動による水使用量の削減に努めます。
  - 4) 化学物質使用量の適正使用に努めます。
2. 環境関連法令及びその他関連要求事項を遵守します。
3. 環境に配慮した製造活動を通じて廃棄物の削減、在庫の削減に努めます。
4. 社員の環境への啓発及び地域・社会との環境活動を通じた社会貢献に努めます。
5. 環境経営方針は全社員への周知徹底を図るとともに、ホームページ及び環境活動レポートを社外に公開することで社会とのより良いコミュニケーションを図ります。

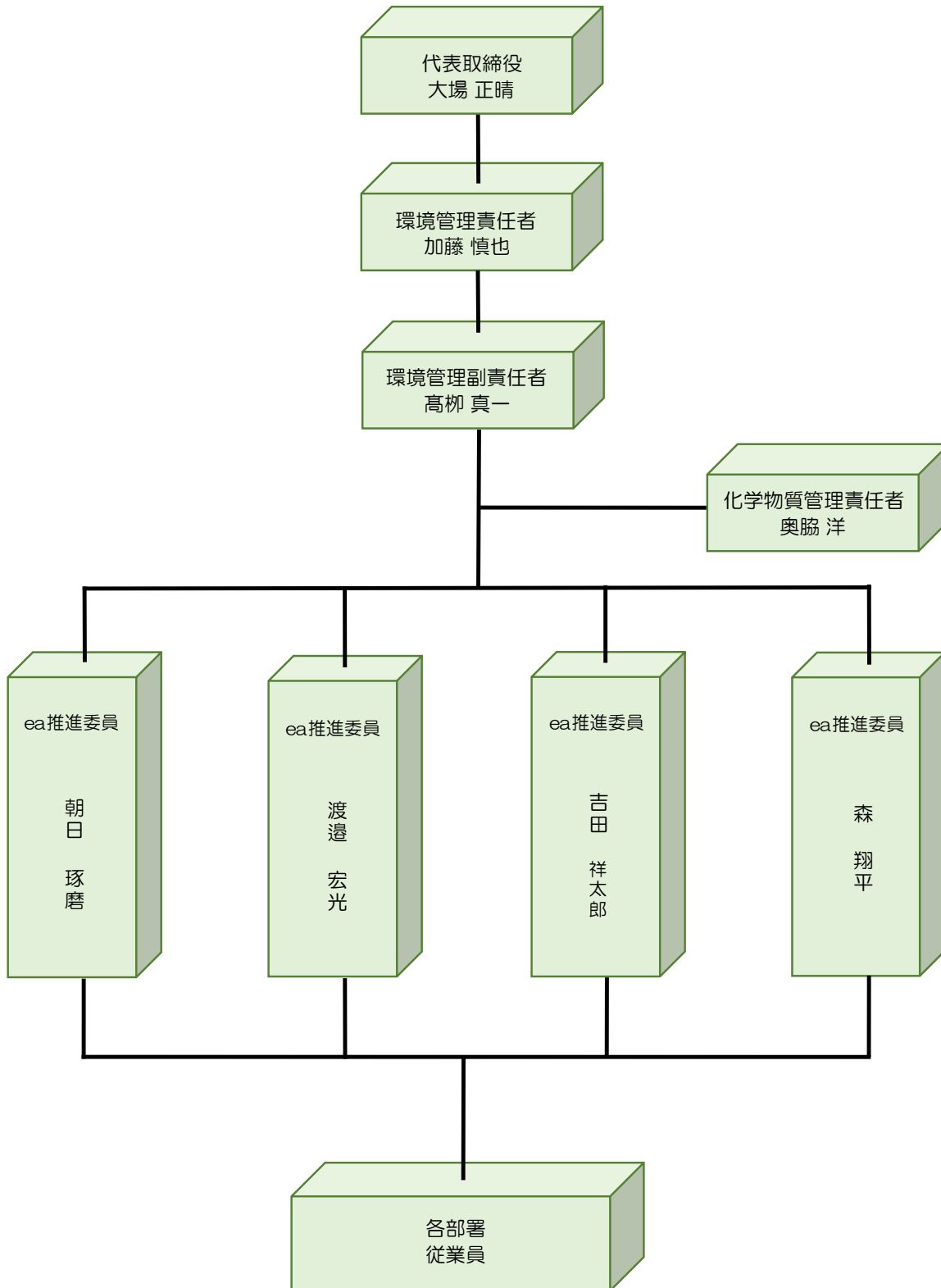
平成19年6月14日制定  
令和3年8月18日改訂

大場機工株式会社

代表取締役



## 4. 実施体制



令和3年5月1日 制定

## 5. 役割、責任及び権限

職名	役割・責任・権限
代表者 (代表取締役)	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営全般に関する責任と権限</li> <li>環境経営に必要な資源の準備</li> <li>環境管理責任者、環境管理副責任者の任命</li> <li>環境経営システム全体の評価と見直し</li> <li>環境経営レポートの承認</li> <li>代表者による全体の評価と見直し・指示を実施</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境活動経営システムの全般の運用、管理</li> <li>環境目標及び環境活動計画の作成</li> <li>環境関連法規取りまとめ表の確認</li> <li>環境経営レポートの確認</li> </ul>
環境管理副責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境関連法規取りまとめ表の作成</li> <li>各課環境目標に対する取り組みの取りまとめ</li> <li>環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施</li> <li>文書、記録の管理</li> </ul>
化学物質管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境物質管理体制の実行管理</li> </ul>
エコアクション 推進委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>部門の環境目標、環境活動計画の実施</li> <li>部門の問題把握と是正対策の実施</li> <li>部門の取組状況をQMS会議で報告</li> <li>部門の従業員教育</li> <li>環境活動レポートの作成</li> </ul>
その他の従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の役割を守りエコアクション21活動を推進する。</li> </ul>



## 6. 環境経営目標

活動項目	環境目標	単位	【基準年】 R3年度実績	R4年度目標	R5年度目標	R6年度目標
				R3年度対比	R3年度対比	R4年度対比
二酸化炭素 排出量	二酸化炭素排出量	kg-CO2	519,154	513,962 1%削減	508,771 2%削減	503,579 3%削減
	購入電力量 排出係数	kwh	1,024,024	1,013,784 1%削減	1,003,544 2%削減	993,303 3%削減
	ガス使用量	kg	1,981	1,961 1%削減	1,941 2%削減	1,922 3%削減
	ガソリン使用量	ℓ	2,736	2,709 1%削減	2,681 2%削減	2,654 3%削減
	灯油使用量	ℓ	8,533	8,448 1%削減	8,362 2%削減	8,277 3%削減
水資源 使用量	水道使用量	m <sup>3</sup>	4,687	4,640 1%削減	4,593 2%削減	4,546 3%削減
廃棄物 排出量	可燃物排出量	kg	4,710	4,662.90 1%削減	4,615.80 2%削減	4,568.70 3%削減
	廃プラスチック排出 量	t	2,145	2.12 1%削減	2.10 2%削減	2.08 3%削減
	コピー用紙使用量	kg	717.5	710.3 1%削減	703.2 2%削減	696.0 3%削減
製品/サービス ステンレスくすの削減		kg	19,786	19,588 1%削減	19,390 2%削減	19,192 3%削減
化学物質購入量		kg	34,000	33,660 1%削減	33,320 2%削減	32,980 3%削減

## 7. 環境経営計画に基づき実施した取り組み内容

部署	達成手段	担当		5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	結果	
管理部	キュービクル集約による電気使用量ピークの把握および選定	朝日	計画	情報収集			データ収集						まとめ		未達		
			経過	情報収集	情報収集	情報収集	見積中	見積中	打合せ見積り	データ収集	データ収集	データ収集	データ収集	まとめ		まとめ	
			評価	○	△	○	×	×	×	△	△	△	△	△		△	
パイプ事業部	回収装置の効率化	深澤岩間渡遣	計画	アイドリング時間の削減													達成
			経過	127ℓ	151ℓ	160ℓ	修繕	129ℓ	099ℓ	051ℓ	055ℓ	063ℓ	047ℓ	043ℓ	053ℓ		
			評価	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○		
パイプ事業部	矯正油の変更	深澤渡遣	計画	P1005SR 試用と評価												達成	
			経過	試用	別品種試用	課題改善	使用量削減	切替	切替完了								
			評価	○	○	○	○	○	○								
パイプ事業部	稼働率向上	品質目標に関連	計画	稼働率 60%		連休温度 400℃		稼働率 60%		連休温度 400℃		稼働率 60%		未達			
			経過	56.10%	42.19%	53.90%	55.00%	46.68%	58.65%	62.07%	50.94%	60.39%	59.24%		72.31%	71.82%	
			評価	△	△	△	△	△	△	○	△	○	△		○	○	
加工事業部	過去3年間の水使用量の調査と水道管経路の確認	吉田戸井	計画	現状把握	水道管新経路確認・過去の使用量確認					新水道管経路図面作成				まとめ	評価	達成	
			経過	現状把握	現状把握	現状把握	現状把握資料まとめ	使用量報告書作成	経路図面作成	経路図面作成	経路図面作成	経路図面作成	経路図面完了	経路図面完了			
			評価	○	○	○	○	○	△	△	△	△	○	○	○		
加工事業部	水使用量削減に関わる提案3件以上	生産課	計画	現状把握 問題点抽出			提案活動						まとめ	評価	未達		
			経過	現状把握	現状把握	現状把握	現状把握	現状把握	現状把握提案活動	提案1件	現状把握提案活動	現状把握提案活動	提案1件	提案活動		年間2件	
			評価	○	△	△	△	△	△	○	△	△	○	×		×	
光事業部	歩留り向上 (前年比90%)	森小林	計画	データ収集および比較											まとめ	未達	
			経過	10 pcs	22 pcs	5 pcs	41 pcs	19 pcs	69 pcs	12 pcs	12 pcs	8 pcs	34 pcs	22 pcs	26 pcs		
			評価	○	○	○	×	○	×	○	○	○	×	×	×		
光事業部	廃プラスチック廃棄量の削減	望月昌清	計画	計測・呼び掛け											まとめ	未達	
			経過	1656 kg	1764 kg	1230 kg	1325 kg	1446 kg	1560 kg	2972 kg	1898 kg	1842 kg	1888 kg	1640 kg	1776 kg		
			評価	○	×	△	○	○	×	×	×	×	×	×	×		

## 8. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価並びに次年度の環境経営計画

活動項目	環境目標	単位	【基準年】 R2年度実績	R3年度目標	R3年度実績	評価	R4年度目標
				R2年度対比	目標達成率		R3年度対比
二酸化炭素 排出量	二酸化炭素排出量	kg-CO2	481,178	476,367 1%削減	519,154 108.98%	×	513,962 1%削減
	購入電力量 排出係数0.474kg-CO2/kwh	kwh	939,102	929,711 1%削減	1,024,024 110.14%	×	1,013,784 1%削減
	ガス使用量	kg	1,709	1,692 1%削減	1,981 117.08%	×	1,961 1%削減
	※ガソリン購入量	ℓ	5,381	5,273 2%削減	2,736 51.89%	○	2,709 1%削減
	灯油購入量	ℓ	9,719	9,622 1%削減	8,533 88.68%	○	8,448 1%削減
水資源 使用量	水道使用量	m <sup>3</sup>	4,864	4,783 1%削減	4,687 97.99%	○	4,640 1%削減
廃棄物 排出量	可燃物排出量	kg	4,105	4,064 1%削減	4,710 115.90%	×	4,663 1%削減
	廃プラスチック排 出量	t	1,740	1,723 1%削減	2,145 124.49%	×	2,124 1%削減
	コピー用紙購入量 /使用量	kg	640.0	633.6 1%削減	717.5 113.24%	×	710.3 1%削減
製品/サービス ステンレスくずの削減		kg	16,142	15,981 1%削減	19,786 123.81%	×	19,588 1%削減
化学薬品購入量		kg	38,500	38,115 1%削減	34,000 89.20%	○	33,660 1%削減

※ガソリン購入量のR3年度の実績について。  
R3年度は、新型コロナウイルスの影響により購入量が大幅に減少したため、R3年度の目標についてはH30年度実績を基準とします。

活動項目	環境目標	R3年度各部の活動内容	評価/コメント	R4年度各部の活動内容
二酸化炭素 排出量	購入電力量	<ul style="list-style-type: none"> <li>■全社 省エネ機器、節電商品への切り替え検討</li> <li>■管理部 電力使用ピークの把握</li> <li>■パイプ事業部 焼鈍設備の稼働率向上による電力削減</li> </ul>	⇒R2年度実績:939,102kwh R3年度実績:1,024,024kwh R2年度対比:109.04% (+84,922kwh)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■全課 ゴミの分別 紙のリサイクル徹底 (古紙回収)</li> <li>こまめな節電 生活水の節水 クールビズの実施 清掃活動</li> <li>■管理部 現有品の販売 (20件/月)</li> <li>燃費管理 低燃費車優先使用 ペーパーレスの推進</li> <li>■パイプ事業部 投入量の見直し 回収装置の使用量把握 井戸水の活用</li> <li>■光事業部 廃棄物量の削減 (前年対比90%) 廃プラ廃棄量の計測 廃棄量削減の呼び掛け</li> <li>■加工事業部 作業時間の短縮 (300時間) 始業前のガスメーター確認による使用量確認・把握</li> </ul>
	ガス使用量	<ul style="list-style-type: none"> <li>■加工事業部 始業前のメーター確認による使用量確認・把握</li> </ul>	⇒R2年度実績:1,709kg R3年度実績:1,981kg R2年度対比:115.91% (+272kg)	
	ガソリン使用量	<ul style="list-style-type: none"> <li>■管理部 燃費管理 低燃費車優先使用</li> </ul>	⇒H30年度実績:5,381ℓ R3年度実績:2,736ℓ H30年度対比:50.84% (-2645ℓ)	
	灯油使用量	<ul style="list-style-type: none"> <li>■パイプ事業部 回収装置の使用量把握 回収装置の効率化 矯正油の変更 (試用及び評価)</li> </ul>	⇒R2年度実績:9,719ℓ R3年度実績:8,533ℓ R2年度対比:87.79% (-1,186ℓ)	
水資源 使用量	水道使用量	<ul style="list-style-type: none"> <li>■パイプ事業部 井戸水の活用</li> <li>■加工事業部 水道管経路の確認 メーター確認による使用量把握 過去3年の使用量調査 使用量削減に関する提案</li> </ul>	⇒R2年度実績:4,864m <sup>3</sup> R3年度実績:4,687m <sup>3</sup> R2年度対比:96.36% (-177m <sup>3</sup> )	
廃棄物 排出量	可燃物 排出量	<ul style="list-style-type: none"> <li>■管理部 ペーパーレスの推進</li> <li>■加工事業部 梱包資材のリユース</li> </ul>	⇒R2年度実績:4,105kg R3年度実績:4,710kg R2年度対比:114.73% (+605kg)	
	廃プラスチック 排出量	<ul style="list-style-type: none"> <li>■加工事業部 梱包資材のリユース</li> <li>■光事業部 廃棄量の計測 廃棄量削減の呼び掛け</li> </ul>	⇒R2年度実績:1,740t R3年度実績:2,145t R2年度対比:123.27% (+0,405t)	
	コピー用紙 使用量	—	⇒R2年度実績:640,0kg R3年度実績:717,5kg R2年度対比:112.10% (+77,5kg)	
製品/サービス ステンレスくずの削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>■管理部 契約電力見直し</li> <li>■加工事業部 歩留まり向上</li> <li>■光事業部 歩留まり向上</li> </ul>	⇒R2年度実績:16,142kg R3年度実績:19,786kg R2年度対比:122.57% (+3644kg)		
化学物質購入量	<ul style="list-style-type: none"> <li>■パイプ事業部 回収装置導入後の回収量把握</li> </ul>	⇒R2年度実績:38,500kg R3年度実績:34,000kg R2年度対比:88.31% (-4500kg)		

## 9. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反・訴訟などの有無

### 1. 環境関連法規等の遵守状況

環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

法令・条例等	適用内容又は規制基準値	備考	遵守状況
廃棄物処理法	保管施設の表示と保管基準の順守 収集運搬業者及び処分業者との委託契約 委託契約書の保管 マニフェストの管理 マニフェストの交付状況報告	表示板(60cm×60cm) 契約書及び許可書 保存期間：5年間 A、B2、D、E票の保管 1回/年	○
静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例第8条	産業廃棄物管理責任者の選任 産業廃棄物処理の委託先の実地確認	管理責任者：高柳真一 1回/年以上	○
騒音規制法第6条第1項 (第7条第1項) 静岡県生活環境の保全等に関する条例 第53条第1項(第54条第1項)	特定施設設置届出書	空気圧縮機	○
振動規制法第6条第1項 (第7条第1項) 静岡県生活環境の保全等に関する条例 第80条第1項(第81条第1項)	特定施設設置届出書	空気圧縮機	○
水質汚濁防止法 第5条第1項(第6条第1項)、第7条	特定施設設置届出書 廃水の水質調査	洗浄施設/蒸留施設 1回/月	○
土壤汚染対策法	有害物質使用特定施設(水濁法)の廃止	土壤汚染調査	○
フロン排出抑制法	設置、使用、廃棄の義務 点検の実施 漏えい量の算定、報告	簡易点検：3ヶ月に1回 定期点検：3年に1回 (7.5kw以上～50kw未満の空調機器)	○
労働安全衛生法	定期健康診断 特定業務従事者の健康診断 局所排気装置設置届 局所排気装置定期自主検査 作業環境測定	1回/年 1回/半年 届出済 1回/年 1回/半年	○
消防法	ボイラー設備の届出 少量危険物 貯蔵の届出 防火管理責任者の選任(法第8条) 消防設備の設置届及び点検	少量危険物 貯蔵の届出 第4類 灯油 最大貯蔵数量950L 防火管理責任者：高柳真一 届出済、1回/半年	○
浄化槽法	法定検査 保守点検、清掃	1回/年 保守点検：4回/年、清掃：1回/年以上	○
PRTR法	対象物質使用量管理 SDSの管理	1回/年 —	○
公害防止組織法	公害防止統括者の選任/公害防止管理者の選任	酸又はアルカリによる表面処理施設 洗浄施設、蒸留施設	○
RoHS規制 REACH規制	顧客からの要求事項の順守	—	○
関連法規	家電リサイクル法 パソコンリサイクル法 自動車リサイクル法	家電、パソコン 社用車 エアコン、室外機	○

### 2. 違反訴訟等の有無

過去3年間の違反、訴訟等はありません

### 3. 近隣からの苦情

過去3年間の環境関連に関する近隣からの苦情はありません。

## 10. 代表者による全体評価と見直し・指示

### 1. 環境活動の取組みのチェック

部署	活動内容	評価
管理部	キュービクル集約による電気使用量ピークの把握および選定	×
パイプ事業部	回収装置の効率化	○
	矯正油の変更	○
	稼働率向上	×
加工事業部	過去3年間の水使用量の調査と水道管経路の確認	○
	水使用量削減に関わる提案3件以上	×
光事業部	歩留り向上（前年比90%）	×
	廃プラスチック廃棄量の削減	×

### 2. 代表者による全体評価・見直し指示

項目	評価	指示事項
1. 環境経営方針	審査の結果を踏まえ一部変更した。	特になし。
2. 環境経営目標	業種別の受注量の差が有り過ぎた。	業種別に目標を設定する事。
3. 環境経営計画	コロナ禍で業種別の差が生じた。	業種別に目標を設定する事。
4. 実施体制	目標達成の為に努力する事。	目標達成する事。
5. その他	変更の必要性	変更の指示、またはコメント記載
1) 環境関連法規	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	特に無し。
2) 環境コミュニケーション	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	活動報告は毎月行うエコアクション会議及びQMS会議で発表。
3) 問題点の是正・予防処置	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	目標未達は再検討する。
4) 環境上の緊急事態への対応	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	災害訓練は新型コロナウイルスの影響で延期。薬品流出訓練は3月第2工場、4月本社で実施。

評価日：令和3年4月20日  
代表取締役 大場 正晴